

◇ 2021 年度事業・活動報告

1. 寄付の造成

- ・福祉たすけあい基金取組組合員の増加、二つのオーダーメイド助成実施に向けた寄付、終活寄付プログラムへの寄付があり、昨年に引き続き、寄付の造成が進みました。
- ・生活クラブ組合員への情報発信、生活クラブ（ユニオン・地域生協）との連携により、福祉たすけあい基金参加者拡大をすすめました。3月末の参加者は11,034人で期首より381人の増加となり、2015年度以降6年ぶりに11,000人を超える参加人数となりました。これにより福祉たすけあい基金の年間寄付額は12,881,800円で予算比100.8%、前年比102.0%となりました。

(1) 福祉たすけあい基金＜生活クラブ組合員寄付＞

(1) 年間寄付額 12,881,800 円でした。(予算比 100.8%・前年比 102.0%)

(2) 組合員の福祉たすけあい基金寄付参加者データ

2021 年 4 月期首 10,653 人

2022 年 3 月末取組人数 11,034 人

①生活クラブ福祉たすけあい基金参加者 2021 年度推移

		期首	3 月末
横浜北	参加人数	2,228	2,272
	参加率	12.4%	12.4%
横浜みなみ	参加人数	2,295	2,444
	参加率	10.4%	10.8%
かわさき	参加人数	1,695	1,756
	参加率	13.6%	13.7%
湘南	参加人数	2,435	2,537
	参加率	12.3%	12.5%
さがみ	参加人数	2,000	2,025
	参加率	18.8%	18.7%
全体	参加人数	10,653	11,034
	参加率	12.9%	13.0

		増減		組合員人数	
コモンズ（配送）参加者	参加者	7,829	8,217	388	56,556
	参加率	14.1%	14.5%		
デポー（店舗）参加者	参加者	2,824	2,817	-7	28,337
	参加率	10.4%	9.9%		
総合計	参加者	10,653	11,034	381	84,893
	参加率	12.9%	13.0		

②参加拡大に向けた活動

福祉たすけあい基金の取組み拡大に向けて、生活クラブと連携して以下に取組みました。

主体	目的	アクション	対象等
生活クラブ 神奈川	参加拡大	年2回のチラシ配布 財団との共催活動：贈呈式 生活困窮者支援カンパニユース での働きかけ	組合員は全員配布、
財団	活動報告	年初の領収書発行の際に財団発行の基金レポート増刊号を封入 デポ一組合員分は郵送	配送組合員は全員配布、 店舗組合員は店舗置き (30部)。
		生活クラブ広報誌「えぼ」記事掲載	組合員全員
共催	活動報告 語り部育成		贈呈式 (年1回実施)

(2) 福祉たすけあい基金<一般寄付>

月	一般寄付者	一般寄付者内容
4月	87,600	年間登録寄付者、助成団体からの寄付
5月	4,800	助成団体からの寄付
6月	0	—
7月	6,000	個人、助成団体からの寄付
8月	9,800	個人、助成団体からの寄付
9月	2,400	個人、助成団体からの寄付
10月	407,200	個人、助成団体からの寄付
11月	12,000	個人、助成団体からの寄付
12月	50,000	個人、助成団体からの寄付
1月	8,400	個人からの寄付
2月	21,800	個人からの寄付
3月	6,000	個人、助成団体からの寄付
合計	616,000	

<助成団体からの寄付>

- ・相武台団地ひよこ子ども食堂 (第14期助成団体) 1,200円
- ・子ども学習支援グループ須賀の寺子屋 (第14期助成団体) 1,200円
- ・ふらっと南湖 (第15期助成団体) 1,200円
- ・特非)フードバンク浜っ子南 (第15期助成団体) 3,600円
- ・リンクトゥミャンマー (第16期助成団体) 1,200円
- ・特非)FunPlace39 (第16期助成団体) 1,200円
- ・NPO 法人ロクマル (第16期助成団体) 5,000円
- ・ユニバーサル絵本ライブラリ UniLeaf (第15期助成団体) 1,200円

・よこはま成年後見つばさ	(第 16 期助成団体)	6,000 円
・育ち合い広場てとてとて	(第 15 期助成団体)	1,200 円
・みんなのレモネードの会	(第 15 期助成団体)	1,200 円
合計		24,200 円

(3) 子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金への寄付

2019 年度下期に遺贈寄付プログラムとして設置した、子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金は、ホームページや基金レポートによる広報を行い、今年度は 52 件 217 万円の寄付がありました。

	件数	口数	金額 (円)
期 首	11	55	550,000
2021 年度	52	217	2,170,000
合 計	63	272	2,720,000

(4) 財団運営費への寄付

- ・個人 2 名から合計 63,469 円の寄付を受けました。
- ・生活クラブ生協の法人寄付 250 万円は、2020 年度 (2021 年 3 月) に執行済みです。

(5) 賛助会費

- ・財団としての活動の広がりや新たな事業の取り組みを進めるための財源基盤を充実させるために 2018 年度下期より市民基金への応援を増やす取り組みとして賛助会員制度を導入しました。今年度は、総会後の 7 月より昨年度会委員へのお知らせや新規拡大に向けた広報活動を行いました。2 月末時点での会員数は、団体 31 (昨年度は 26)、個人 131 (昨年度は 108)、となっています。
- ・目標達成率は以下です。

		目標	実績	達成率
個人	人数	125 人	131 人	108.3%
	金額	35 万	308,000	88.0%
団体	団体数	30 団体	31 団体	103.3%
	金額	60 万	455,000	75.8%
合計	金額	95 万	763,000	80.3%

i. 会員の状況

区分	人数・団体数	納入数
個人会員	131 人	69 人
法人・団体会員	31 団体	25 団体

ii. 団体会費（上期納入分）

団体名	金額	備考
(株)オルタフーズ	60,000	
(株)ウエルライフ	30,000	
共生食品(株)	10,000	
(株)マルモ青木味噌醤油醸造所	50,000	
(株)秋川牧園	10,000	
オルタスクエア(株)	50,000	
(株)ニッコー	10,000	
(株)カジノヤ	20,000	
(株)太陽ネットワーク物流	30,000	
(株)双立デザイン設計事務所	20,000	
新生酪農株式会社	20,000	
(株)佐藤印刷所	20,000	
神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会	10,000	
(特非) 参加型システム研究所	10,000	
(株)創土社	10,000	
(財) 神奈川県地域労働文化事業団	10,000	
(特非) はだのあすなろ会	10,000	
企業組合エコ・アド	5,000	
(一社) 川崎地方自治研究センター	10,000	
(公社) 神奈川地方自治研究センター	10,000	
相武台ひよこ子ども食堂	10,000	新
(特非) Fun Place39	10,000	新
ワーカーズコレクティブあんず	10,000	新
(公財) 横浜 YMCA	10,000	新
子ども食堂ハレの日ケの日	10,000	新
合 計	455,000	

(6) ユーコープ子ども食堂・地域食堂応援助成の取組

生活協同組合ユーコープの組合員寄付から市民基金に 236 万円のオーダーメイド寄付がありました。昨年に続き 2 年連続の寄付です。この寄付の内 200 万円を原資としてオーダーメイド基金「ユーコープ子ども食堂・地域食堂応援助成」を設置して取り組みました。残額 36 万円は一般寄付として受け入れ、財団の運営費・事業費として活用することにしました。

(7) 生活クラブソーシャルインクルーシブ助成の取組

生活クラブ組合員カンパ「生活困窮者支援カンパ 2021」による寄付を受け入れました。寄付額は 9,529,000 円です。この内、800 万円を原資として、オーダーメイド助成プログラム「生活クラブソーシャルインクルーシブ助成」に取り組みました。寄付の 15%相当額（152 万 9000 円）を財団の運営費・事業費として活用します。

2. 助成事業（公益目的事業1）

1) 2021 年度助成実績

	福祉たすけあい 第16期	福祉たすけあい 第17期 スタート助成	ユーコープ 子ども食堂・地域 食堂応援助成	生活クラブソーシ ャルインクルーシ ブ助成	合 計
申請団体	11	21	34	73	139
助成団体	11	18	33	72	134
助成金額	3,996,881 円	4,998,871 円	2,000,000 円	6,709,600 円	17,705,352 円

2) 2021 年度助成活動

① 通常型福祉たすけあい助成（第16期）

- ・11 団体から申請があり、11 団体に 3,996,881 円を助成しました。多世代が交流する地域の居場所づくりに関する助成が多く、高齢者、子どもだけでなく若者も関わって、地域の間づくりやネットワークづくりなど意欲的な活動する団体が地域に広がっています。

② 第7期スタート助成（17期）

- ・21 団体より申請があり、18 団体に 4,998,871 円を助成しました。申請団体数は、3 期連続申請 1 団体、2 期連続申請 5 団体、初回申請団体が 12 団体となりました。
- ・新型コロナ緊急応援助成をきっかけに市民基金を知って申請する団体が増え、地域や団体の掘り起こしに繋がっています。

③ ユーコープ子ども食堂・地域食堂応援助成の助成を行いました。

- ・ユーコープからの寄付金を原資として、33 団体へ 200 万円の助成を行いました。

④ 生活クラブソーシャルインクルーシブ助成を行いました。

- ・生活クラブ組合員カンパ「生活困窮者支援カンパ 2021」を原資として、72 団体に、6,709,600 円の助成を行いました。

⑤ 助成事業に関する広報活動

- ・助成募集チラシの作成

第16期福祉たすけあい基金募集チラシを作成し、神奈川県内の市民活動サポートセンター39か所に配架の手配をした他、生活クラブ生協ほか関係団体にチラシを配布し広く広報しました。また、メールマガジンによる広報も同時に行いました。

- ・公益事業コミュニティサイトの CANPAN に助成情報を掲載しました。

⑥ 贈呈式の開催

- ・10月に第14期、第15期助成団体を合同でオンライン開催しました

<参考資料> 第1期～第17期申請団体の推移並びに助成金額

助成時期		助成団体数	助成金額（円）	申請団体数	申請金額（約万円）
第1期	2014年4月助成	9	4,514,100	34	2400
第2期	2015年2月助成	12	3,944,950	17	700
第3期	2015年5月助成	11	3,822,000	10	1084
第4期	2015年8月助成	13	3,389,131	20	1000
第5期	2016年3月助成	6	1,667,633	12	390
第6期	2016年8月助成	7	3,245,769	18	640
第7期	2017年4月助成	10	2,493,230	16	490
第8期	2017年8月助成	13	4,000,000	20	1000
第9期	2018年4月助成	16	4,346,100	24	740
第10期	2018年8月助成	11	3,560,382	19	859
第11期	2019年4月助成	14	4,440,364	15	508
第12期	2019年8月助成	11	3,941,072	13	611
第13期	2020年4月助成	12	3,266,759	13	393
第14期	2020年11月助成	8	3,275,903	10	544
第15期	2021年4月助成	16	5,000,000	17	581
第16期	2021年8月助成	11	3,996,881	11	461
第17期	2022年4月助成	18	4,998,871	21	716
合計		198	63,903,145	300	13,117

3. 研修・セミナー事業（公益目的事業2）

(1) 居場所ツアーの実施

- ① 居場所づくりを応援する新企画として「居場所見学ツアー」に取り組みました。福祉たすけあい基金レポート2021夏号で募集し、3名の参加がありました。

第1回（9月7日）	オリエンテーション （オンライン開催）	
第2回（9月28日）	コミュニティカフェ6丁目クラブ （鎌倉市）見学	第10期助成団体
第3回（11月12日）	フリースペースら・ぱれっと （茅ヶ崎市）見学	第9期、11期、13期助成団体

(2) 市民ライターの活動

上半期は、新型コロナウイルスの影響により、市民ライターによる取材は企画しませんでした。

4. 相談・助言事業（公益目的事業3）

(1) 公益社団法人フードバンクの事務局業務の受託

- ・ 2016年度当財団が主催した研究会を契機に始まったフードバンク検討は、県内の非営利協同組織12団体によるフードバンク事業を行う中間組織の設立に結実しました（2018年3月）。当財団は、公益社団法人フードバンクかながわに参加するとともに2018年7月から事務局業務（広報・ネットワークづくり）を受託しています。
- ・ フードバンクかながわから休眠預金活用に係る社会的インパクト調査業務の一部を受託しました。

(2) 遺贈寄付相談に向けた取り組み

- ・ 生活クラブ、福祉クラブ、神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会、ワーカーズ・コレクティブ協会、女性・市民コミュニティバンク、WE21 ジャパン、地球の木とともに、2019年8月に「遺贈寄付相談・市民ネット運営委員会」を立ち上げ、共通での相談窓口の開始とともに、ホームページの開設、リーフレットの作成、スタート集会や相続セミナーに向けた広報活動などを行ってきました。今年度は、7月と11月と3月に運営委員会、8月と12月に相続セミナーを開催しました。
- ・ 財団としては、昨年度、新たな遺贈寄付の受け入れプログラム「子どもの貧困にたちむかう市民活動応援基金」「冠基金」を設立しました。今年度は、ホームページやメールマガジンでの広報、賛助会員、過去の寄付者へのお知らせなどを行い、これまでに272万円の寄付が集まっています。

5. 広報発行事業（公益目的事業4）

(1) 年次報告書を作成しました。

- ・ 財団活動をアピールするツールとして年間の活動内容がわかる資料を作成し、寄付依頼や賛助会員拡大として活用しました。
- ・ 2020年度年次報告書を作成し関連団体や賛助会員へ配布しました。

(2) 「福祉たすけあい基金 BOOK」の発行

- ・ 第15期及び第16期福祉たすけあい基金の助成団体紹介のためのブックレット「福祉たすけあい基金 BOOK Vol. 10」を12月に500部発行し、市民基金関連者へ配布しました。
- ・ 新型コロナ対応・緊急応援助成第4次助成団体紹介のためのブックレット「福祉たすけあい基金 BOOK 増刊号」を6月に800部発行し、助成団体、寄付者である生活クラブに配布しました。

(3) 「福祉たすけあい基金レポート」の発行

- ・ 生活クラブ組合員向けの活動報告書を2回（夏号、冬号）作成し、コモンズ組合員には全員、デポー組合員にはデポーフロア配架にて配布しました。
- ・ 夏号は、生活クラブユニオン共済たすけあい委員会発行のニュース「福祉たすけあい基金に参加しましょう」と同じ月（配布週は異なる）に組合員に届けたことや地域生協独自のキャンペーンなどにより、6～8月の新規参加数は122名となりました。
- ・ 福祉たすけあい基金参加者へ領収書配布時（1月）に増刊号を発行しました。

(4) ホームページの一部改良

- ・ ワーコレほっとリンクへの作業の委託を継続して、タイムリーな情報発信を行いました。
- ・ 今年度は、遺贈市民ネットとのリンク、福祉たすけあい基金、オーダーメイド基金の広報を中心にトップページのホーム画面をリニューアルし、掲載記事や情報の整理を行いました。

(5) ニュースレターの発行とメールマガジンの配信

- ・ 2019年の10月より、新たな広報の手段として、市民基金ニュースレターの作成を行い、毎月1回発行しました。
- ・ メールマガジンの登録が1000名を越えました。ニュースレターによる定期配信と募集情報などの臨時配信を行いました。また、今年度は、研究会やイベントなどの臨時配信も行いました。

6. その他

(1) ポスト・コロナの市民連帯を展望する研究会

①研究会設置の趣旨

昨年、新型コロナ対応緊急応援助成（第1～4次）に取り組むことを通じて、コロナ禍でも地域課題の解決のため活動を続けている多くの団体に助成で支援を行いました。地域の中間組織（サークル、子供会、自治会など）の多くは活動自粛に向かいましたが、コロナ禍にあっても課題解決に取り組んでいる市民団体は数多くあり、新たに設立した団体もあります。食のわかちあい運動（フードバンクやフードパントリー）、こどもの教育への地域的な取組み（無料学習支援）、社会的孤立への支援（ひきこもり支援、DV被害者支援）など、制度の狭間にある人々を支援している団体などです。これらの活動は市民社会のこれからにとって大いなる希望です。

中間支援組織はこれらの活動の現場をエンパワメントする役割を担っています。ポスト・コロナの時代にあって、県内の中間支援組織はどのような役割・機能を発揮できるのか、県内中間支援組織から報告いただき、これからの市民連帯を展望しました。

②研究会開催実績

回・開催日時	テーマ	講師	参加者
第1回 7月31日	社会的連帯経済はいかにして発展可能か ～韓国ソウルの事例を中心に～	藤井敦史さん 立教大学教授	33名
第2回 9月11日	座間就労準備支援事業の実践を通してポスト・コロナの市民連帯を展望する	岡田百合子さん NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会副理事長	39名
第3回 10月2日	コロナ禍のフードバンク運動の実績と展望	藤田誠さん フードバンクかながわ事務局長 荻原妙子さん フードバンクかながわスタッフ 地域活動連携コーディネーター	43名
第4回 10月30日	ネットワーク型市民活動支援組織のかたち～休眠預金活用制度における取組から	小林幸治さん NPO法人まちぽっと理事・事務局長	28名

第5回 11月20日	コロナ禍で横浜市社会福祉協議会 が取り組んだ生活困窮者支援と地 域共生に向けた取組	池田誠司さん 横浜市社会福祉協議会 地域活動部長	25名
---------------	---	--------------------------------	-----

7. 法人運営

1) 機関会議運営

(1) 理事会

・定例理事会を5月、7月、9月、11月、1月、3月に、臨時理事会を6月、1月に開催しました。各理事会の主な議決事項は以下の通りです。

	主な議決事項
第1回 (5月度理事会) 5月15日開催 (オンライン併用)	①2020年度定時評議員会議案の決定 ②事業指定助成プログラム『エラベル』取組み総括 ③(仮称)ポスト・コロナの市民連帯を展望する研究会 ④居場所ツアー実施計画の承認 ⑤選考委員並びに選考部会メンバーの承認
第1回臨時 6月5日開催 (オンライン併用)	①理事長の選任並びに副理事長・専務理事の選任
第2回 (7月度理事会) 7月17日開催 (オンライン併用)	①第16期福祉たすけあい基金選考結果の承認 ②第14期、15期福祉たすけあい基金贈呈式の開催 ③2022年定時評議員会の開催日程 ④全員参加の持続可能な福祉社会づくりに向けた「新たな組織」設立 発起人会への参加
第3回 (9月度理事会) 9月11日開催 (オンライン併用)	①福祉たすけあい基金第17期(第7期スタート助成)実施計画・募集 要項の承認 ②生活クラブ組合員カンパによる助成プログラムの実施 ③基金レポート(2021年冬号)の発行計画と予算の承認
第4回 (11月度理事会) 11月20日開催 (オンライン併用)	①2021年度上期事業報告・決算の承認並びに下期対策 ②ユーコープ・オーダーメイド基金の設置と助成プログラム「子ども 食堂・地域食堂応援助成」の実施 ③生活クラブ・オーダーメイド基金の設置と助成プログラム「生活ク ラブ ソーシャルインクルーシブ基金助成」実施計画の承認 ④JA 横浜オーダーメイド基金の取組について ⑤子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金取り組み方針案の承認 ⑥福祉たすけあい基金取組み組合員への領収書発行等に係る予算の承 認
第2回臨時 1月8日開催 (オンライン併用)	①ユーコープ子ども食堂応援助成・地域食堂応援助成団体の承認

第5回 (1月度理事会) 1月22日開催 (オンライン併用)	①2022年度事業計画(一次討議) ②2021年度第1回臨時評議員会開催要領並びに議案の決定 ③2022年度年間会議日程 ④県指導検査報告
第6回 (3月度理事会) 3月12日開催 (オンライン併用)	①2021年度臨時評議員会議案の決定 ②第17期福祉たすけあい基金選考結果の承認 ③生活クラブソーシャルインクルーシブ助成結果の承認 ③第18福祉たすけあい基金募集要項並びにチャートの承認 ④子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金募集要項並びにチャートの承認 ⑤福祉たすけあい基金贈呈式の開催方針 ⑥経理に関する規則の制定 ⑦(仮称)全員参加による地域未来創造機構への参画

(2) 定時評議員会の開催

- ・6月5日付でみなし決議による定時評議員会を開催し、2020年度事業・活動報告並びに決算書を承認しました。
- ・また、役員選出が行われ、理事24名、監事3名、評議員26名が選任されました。

(3) 参加状況

・理事会

	5月度定例	6月度臨時	7月度定例	9月度定例
理事	17/22	18/24	22/24	21/24
監事	2/3	2/3	3/3	3/3

	11月度定例	1月度臨時	1月度定例	3月度定例
理事	19/24	13/24	19/23	18/23
監事	3/3	3/3	3/3	2/3

・評議員会

	定時評議員会 (6/5)
評議員	みなし決議(決議の省略)

	臨時評議員会 (3/26)
評議員	18/26

以

第16期助成団体報告 (2021/07/17)

名称	主な活動地域	申請事業	助成内容	助成額(円)
(特非) 神奈川フードバンク・プラス	横須賀市	独居高齢者への食支援事業の充実化	事務所兼倉庫の家賃、ボランティア交通費、ガソリン代	490,000
(特非) リンクトウミャンマー	横浜市 金沢区	ミャンマーコーヒーとミャンマーマスクの販売事業	WEB等の広報費、人件費約など	244,013
(特非) フードバンク横浜	横浜市 戸塚区	子ども未来塾リモート学習の新規導入	中古パソコン、学習システム利用料	440,000
港北ユーステーブル	横浜市 港北区	学習支援教室「とことこ」主に外国にルーツがある小中学生のための学習支援	修繕費、家賃の一部、物品購入	278,000
(特非) バンブーマナビ塾	横浜市 港北区	不登校、ひきこもり、障害等困難を抱えた子ども若者に対し、居場所支援のプログラムとして、物づくり、星を観る会とキャンプ、科学実験教室、社会科見学等を行い、体験を通して孤立することなく学びを深め、社会参加への支援をする活動。	実験器具などの物品購入、講師謝金など	270,000
(一般社団) 4 Hearts	茅ヶ崎市	『みみとこころのポータルサイト』の充実	ポータルサイトの充実のために必要な機材の購入費用	479,794
(特非) Fun Place 39	横須賀市	横須賀市内の障害児とその家族の為にスポーツ支援活動(主に水泳支援・陸上運動支援)	物品購入(室内エアトラampoline購入費、コーチ水中マスク)、ボランティア交通費	559,620
(特非) よこはま成年後見つばさ	横浜市 保土ケ谷区	法人後見推進事業 -10周年記念事業-	10周年記念誌の発行費用、記念講演開催費用	400,000
青葉フードシェアネットワーク	横浜市 青葉区、 緑区、 都筑区 港北区 泉区	横浜市内の食支援活動の情報を提供するホームページの作成	HP立上費用、印刷製本費(チラシ、リーフレット)、郵送費	347,454
NPO 法人ロクマル	横浜市 都筑区	高齢期予備軍ロクマル世代の20年後に向けて 冊子づくり	冊子の作成費用	200,000
子育てサークル 金沢区ママ	横浜市 金沢区	子育てサークル 金沢区ママシェアスペース monmo の活用イベント企画運営	講座謝金、物品購入、印刷費、消耗品など	288,000
合計				3,996,881

第17期助成団体報告 (2022/03/12)

名称	主な活動地域	申請事業	助成内容	助成額(円)
特定非営利活動法人 ふじぼけ	藤沢市	新たな拠点(空き家)での子どもの居場所活動	家賃の一部、ボランティア交通費、物品購入費	261,500
NPO法人 おでかけ綾瀬	綾瀬市	福祉有償運送(移動サービス)	物品購入費、研修費	238,400
一般社団法人かけはし	横浜市	地域で創るコミュニティカフェと社会的自立に向けた活動	賃借料の一部	400,000
まちとも霧が丘	横浜市	地域をつなぐコミュニティカフェのオープン	家賃の一部	400,000
一般社団法人 アマヤドリ	葉山町	多種多様な課題を抱える若者を理解し、課題解決に伴走するためのアマヤドリスタッフ研修	スタッフ研修費	244,440
横浜市立大学 one by ONE	横浜市	小児病棟における院内家庭教師ボランティアおよび院内イベント企画	物品購入費、イベント費用など	271,700
リンパ浮腫ネットワーク ジャパン	横浜市	リンパ浮腫の実態調査と情報ポータルサイト(施設一覧)の拡充(2年目)	諸謝金、広報費	400,000
一般社団法人 みんなのレモネードの会	横浜市	「みんなレモサンのしおり」(仮)制作	印刷費、諸謝金	126,100
一般社団法人 働くしあわせプロジェクト	川崎市	近隣住民に愛され頼られるコミュニティづくりに向けた広報活動	広報費、動画作成費	300,000
一般社団法人 あそびの庭	二宮町	誰でもどうぞの居場所づくりと地域の大人の理解促進	テナナ利用料	360,000
特定非営利活動法人 Compass	海老名市	海老名市国分寺台地域に交流と賑わいを生み出す居場所「OMNIBUS オムニバス」事業	駐車場代	400,000
NPO法人 フードバンク浜っ子南	横浜市	ひとり親世帯への食料支援および子ども食堂等地域団体への食品提供と、提供食品の寄贈を募る活動を通して、地域に食の助け合いの輪を広げる活動(2年目)	倉庫賃貸料	360,000
一般社団法人 Thoughtful Gift	横浜市	ミーアの贈り物(精神科入院患者への物資提供)	宅配料、バーチャルオフィスレンタル料、謝金等	296,160
Book & Art ニワシドリ	座間市	Book & Art ニワシドリ(空き家活用プロジェクト)	物品購入費、謝金、ホームページ作成費等	330,049
特定非営利活動法人 居場所 そら	横浜市	放課後の居場所づくり事業「そらカフェ」	ボランティア謝金等	140,000
NPO法人 DV対策センター	横浜市	スタッフのための研修(DV・虐待・貧困・子どもの支援について)	スタッフ研修費	200,000
一般社団法人 ヨコハマ・インクルボッチャ・ラボ	横浜市	ラポール上大岡との共創パートナーとしてのボッチャ普及推進事業	広報費、物品購入費の一部	140,522
NPO法人 サザンコア	茅ヶ崎市	お助け隊の設立(要支援・要介護者への通院等の乗降介護)	物品購入費	130,000
合計				4,998,871